



デパートに行こう

デパートでのやりとりを学ぶ

日本を旅行して、買い物をする想定させる。地下鉄やデパートで、生徒にその場に応じた日本語を使わせたり、行動をとらせる。そして、日本の文化について話し合いをさせる。



レベッカ・ウッドワード
Rebecca Woodward

フレージャー高校
(ニュージーランド、ハミルトン州)

目的

言語面の目的

日本で買い物をするための表現を理解し、使うことができるようになる。

学習する機能	学習する表現	学習する語彙
<ul style="list-style-type: none"> ❖ 数詞を理解し、使う ❖ 商品を見せてもらう ❖ 商品を買う 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 数詞(～まい、～だい、～さつ、など) ❖ ～をみせてください ❖ ～をください 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 買い物の表現(いらっしゃいませ、まいどありがとう、など) ❖ お金(ひゃく、せん、まん、えん)

文化面の目的

日本を旅行し、買い物をする場面を想像する。

日本の文化における丁寧さや畏敬の概念について考え、討論する。

ニュージーランドと日本で、畏敬の概念がどのように異なるか、理解する。

日本人の日常生活スタイル、特にその「忙しい生活ぶり」について考え、討論する。

LESSON PLAN

用意するもの

- タスク
- カード*
- ロールプレイで使う商品

授業の進め方

事前に、次の文型や語句を学習しておく。

数詞の使い方

- ◆ いっばん、にほん、さんばん、よんほん、など
- ◆ ~かい / ~さつ / ~まい / ~ひき / ~だい
- ◆ ひとつ、ふたつ

買いたいものを見せてもらうときの表現

- ◆ それをみてください
- ◆ その~をみてください

買い物に関する表現

- ◆ いらっしゃいませ
- ◆ まいどありがとうございます
- ◆ しょうしょうおまちください
- ◆ よろしいですか / かしこまりました

お金

- ◆ ひゃく、せん、まん、えん
- ◆ ちいさいバラはいっばんごじゅうえんです

買いたいものを求めるときの表現

- ◆ チョコレートをにまいください
- ◆ ちいさいバラをろっばんください

漢字

- ◆ 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、百、千、万、円

1. 地下鉄の場面を想定して (10分)

生徒を教室の外に並ばせる。ドアに「ちかてつ」という標示をつけ、廊下には黄色いテープで、プラットホームの印をつけておく。教室は半分を地下鉄、もう半分をデパートと見立てる。地下鉄構内の音を録音したテープを流す。電車が来ると、生徒は「えきいん」に背中を押されながら電車に乗り込む。

2. デパートの場面を想定して (2分)

生徒は電車を降りる。ドアは「デパート」の標示に変わる。生徒たちがデパートに入ると、「店員」が「いらっしゃいませ」と言って、迎える。

3. 買い物! (30分)

生徒に英語で書かれたタスクカードを渡す。カードの指示は日本語でも書かれている。生徒はグループに分かれ、部屋のなかに用意されたそれぞれのカウンターで買い物客と店員のロールプレイをする。今度は、デパートの音の録音テープを流す。買う品物として、生徒に食べ物などを家から持ってこさせる。

教師が、駅員や販売員、店員など、ロールプレイの役をすべて演じてみせてもいいが、高学年のクラスでは、復習してから、駅員やデパート店員役をやらせてもよく、むしろその方が効果的だ。そうすると、生徒にとってもいい練習になるし、教師も教室内を見て回って、生徒のやりとりを評価したりできる。高学年の生徒には評価表をチェックさせることもできる。高学年の生徒には店員のタスクカードを渡し、練習させる。

4. 話し合いと宿題の説明 (5分)

1. 生徒にグループで話し合わせ、自己評価のためのチェック表に記入させる。

自己評価：生徒のチェック表

「数詞」を使って、ものを買うことができる []
 日本の店でよく使われる特定の表現が理解できる []
 礼を述べることができる []
 漢字の百、千、万、円が読める []

2. 次の質問について話し合わせ、グループの代表者に発表の準備をさせる。グループごとに代表者に全員の前で発表させる。

質問

- 1) 駅員は、どうして客を電車内に押し込んだと思いますか。このことから、日本の旅行や日常生活について、どのようなことがいえますか。
- 2) デパートの入口に立つ女子店員は、買い物客のあなたを丁寧に迎えました。そのことについて、どう感じましたか。どうしてデパートはこのようなことをすると思いますか。
- 3) デパートの店員は、丁寧なことばを使い、お客が自分たちの店で買い物をしてくれたことに感謝の気持ちを表します。このことから、日本の社会について、どのようなことがいえますか。ニュージーランドでも、同じようなことがありますか。

5. 評価方法

- ◆ 買い物のロールプレイ (聞き取りと会話)
品物を見せてほしいと頼めるか、品物の値段を聞くことができるか、何を買いたいか表現できるか、などを評価する。
- ◆ 宿題

文化理解と外国語学習について

外国語学習を越えて

13歳から日本語を勉強してきたことが、私の日本語の教授法や考え方に大きな影響を与えている。語学学習の域を越えて、さらに日本の社会や文化について生徒とともに学ぶことは、私自身にも大きな影響を及ぼしてきた。

場面設定で覚えたことばや、自分で実際に経験したことは印象に残るものだ、と私は確信している。

日本語は学校の教科として多く扱われるようになってきたので、生徒に及ぼす影響も大きい。ことばは生きていて、便利で役に立つものだということを理解することで、生徒はもっと上手になろうと一生懸命勉強するようになる。

実体験を通じて語学がいかに上達するかという好例が、今回の授業「デパートに行こう！」である。高学年のクラスでロールプレイの店員役をやった生徒2人は、試

験の作文で、そのときの会話を再現しようと試みていた。設定された場面の中で日本語を実際使ってみた経験は、おそらくいつまでも忘れないことだろう。

また、私は教師として、生徒が語学学習を通して身につけることができる能力や個人の資質についても意識するようになった。生徒たちは、学習中の外国語と比較することによって、自分の母語や文化について、さらに自分自身のことについても、さらに理解を深めていく。また、自分たちの文化が、まったく異質のものと思っているいろいろな文化の一つにすぎないということも認識するようになる。

語学教育に不可欠のものとして、日本や日本文化の一面に触れることが生徒には必要である。そして、自分の文化をさらに深く理解し、同時に新しい考えも身につけることができるのである。

講評

店員が客に対して使う「いらっしゃいませ」「まいどありがとうございます」などもロールプレイを成功させるために学ぶことになっている。日本人の客は、店員のこのような表現に対して特別応答することはないが、日本に来た外国人は往々にしてどう反応していいか戸惑うようである。できれば、ロールプレイのなかで、その点の説明も加えてほしい。

数種のロールプレイでは、すべて同じ文型「いくらですか」を使うことになっているが、ロールプレイによっては状況を変え、他の表現を使わせたりする工夫もほしい。例えば、「～は何階にありますか」のように広い店内での場所を聞く表現や、「大きい～を見せてください」「もっと安い～はありますか」などサイズや好みを表現できるような場面も考えられるだろう。また、できるだけ既習項目を盛り込んだ内容にすると、表現力も豊かになり、活動そのものが面白くなるのではないだろうか。

地下鉄のラッシュアワーの混雑ぶりを体験するところもあるが、この部分が日本の混雑ぶりの象徴のように感じるので気をつけたい。できれば、大都市における生活文化だと説明した上で話し合いを進めるべきであろう。

タスクカード

デパートの店員

客をむかえる。

客の買い物の手助けをする。

「しょうしょうおまちください」「おまたせしました」「かしこまりました」「ありがとうございました」などの表現を使う。

品物の値段を言う。

買物客C

_____を買いたい。

売り場に行く。

店員に「その_____を
みせてください」と言う。

「その～はいくらですか」と聞く。代金を
払い、釣銭を受け取る。

買物客A

_____を買いたい。

売り場に行く。

店員に「その_____を
みせてください」と言う。

「その～はいくらですか」と聞く。代金を
払い、釣銭を受け取る。

買物客D

_____を買いたい。

売り場に行く。

店員に「その_____を
みせてください」と言う。

「その～はいくらですか」と聞く。代金を
払い、釣銭を受け取る。

買物客B

_____を買いたい。

売り場に行く。

店員に「その_____を
みせてください」と言う。

「その～はいくらですか」と聞く。代金を
払い、釣銭を受け取る。

買物客E

_____を買いたい。

売り場に行く。

店員に「その_____を
みせてください」と言う。

「その～はいくらですか」と聞く。代金を
払い、釣銭を受け取る。